

○ 食料自給率の推移

(単位：%)

		昭和	50	60	平成	17	18	19	20	21	22	23	24	25
		40年度			7年度									(概算)
品目別 自給率	米	95	110	107	104	95	94	94	95	95	97	96	96	96
	うち主食用					100	100	100	100	100	100	100	100	100
	小麦	28	4	14	7	14	13	14	14	11	9	11	12	12
	大麦・はだか麦	73	10	15	8	8	8	9	11	8	8	8	8	9
	いも類	100	99	96	87	81	80	81	81	78	76	75	75	76
	かんしょ	100	100	100	100	93	92	94	96	94	93	93	93	93
	ばれいしょ	100	99	95	83	77	76	77	76	73	71	70	71	71
	豆類	25	9	8	5	7	7	7	9	8	8	9	10	9
	大豆	11	4	5	2	5	5	5	6	6	6	7	8	7
	野菜	100	99	95	85	79	79	81	82	83	81	79	78	79
	果実	90	84	77	49	41	38	40	41	42	38	38	38	39
	みかん	109	102	106	102	103	94	99	99	101	95	105	103	103
	りんご	102	100	97	62	52	52	49	54	58	58	52	55	55
	肉類(鯨肉を除く)	90 (42)	77 (16)	81 (13)	57 (8)	54 (8)	56 (7)	56 (8)	56 (8)	57 (7)	56 (7)	54 (8)	55 (8)	55 (8)
	牛肉	95 (84)	81 (43)	72 (28)	39 (11)	43 (12)	43 (11)	43 (12)	44 (12)	43 (11)	42 (11)	40 (10)	42 (11)	41 (11)
	豚肉	100 (31)	86 (12)	86 (9)	62 (7)	50 (6)	52 (5)	52 (6)	52 (6)	55 (6)	53 (6)	52 (6)	53 (6)	54 (7)
	鶏肉	97 (30)	97 (13)	92 (10)	69 (7)	67 (8)	69 (7)	69 (7)	70 (8)	70 (7)	68 (7)	66 (8)	66 (8)	66 (8)
	鶏卵	100 (31)	97 (13)	98 (10)	94 (10)	95 (11)	95 (10)	96 (10)	96 (10)	96 (10)	96 (10)	95 (11)	95 (11)	95 (12)
	牛乳・乳製品	86 (63)	81 (44)	85 (43)	72 (32)	68 (29)	67 (27)	66 (27)	70 (30)	71 (30)	67 (28)	65 (28)	65 (27)	64 (27)
	魚介類	100	99	93	57	51	52	53	53	53	55	52	52	55
うち食用	110	100	86	59	57	60	62	62	62	62	58	57	60	
海藻類	88	86	74	68	65	67	71	71	72	70	62	68	69	
砂糖類	31	15	33	31	34	32	33	38	33	26	26	28	29	
油脂類	31	23	32	15	13	13	13	13	14	13	13	13	13	
きのこ類	115	110	102	78	79	81	83	86	87	86	87	86	87	
飼料用を含む穀物全体の自給率	62	40	31	30	28	27	28	28	26	27	28	27	28	
主食用穀物自給率	80	69	69	65	61	60	60	61	58	59	59	59	59	
供給熱量ベースの総合食料自給率	73	54	53	43	40	39	40	41	40	39	39	39	39	
生産額ベースの総合食料自給率	86	83	82	74	69	68	66	65	70	69	67	67	65	
飼料自給率	55	34	27	26	25	25	25	26	25	25	26	26	26	

(注1) 米については、国内生産と国産米在庫の取崩しで国内需要に対応している実態を踏まえ、平成10年度から国内生産量に国産米在庫取崩し量を加えた数量を用いて、次式により品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率を算出している。  
 $自給率 = \frac{\text{国産供給量 (国内生産量 + 国産米在庫取崩し量)}}{\text{国内消費仕向量}} \times 100$  (重量ベース)

なお、国産米在庫取崩し量は、17年度が3千トン、18年度が178千トン、19年度が13千トン、20年度が▲366千トン、21年度が▲148千トン、22年度が150千トン、23年度が224千トン、24年度が▲371千トン、25年度が▲244千トンである。

また、飼料用の政府売却がある場合は、国産供給量及び国内消費仕向量から飼料用政府売却数量を除いて算出している。

(注2) 品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率の算出は次式による。

$自給率 = \frac{\text{国内生産量}}{\text{国内消費仕向量}} \times 100$  (重量ベース)

(注3) 供給熱量総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物については、飼料自給率を考慮して算出している。

$自給率 = \frac{\text{国産供給熱量}}{\text{国内総供給熱量}} \times 100$  (熱量ベース)

(注4) 生産額ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物及び加工食品については、輸入飼料及び輸入食品原料の額を国内生産額から控除して算出している。

$自給率 = \frac{\text{食料の国内生産額}}{\text{食料の国内消費仕向額}} \times 100$  (生産額ベース)

(注5) 飼料自給率については、TDN(可消化養分総量)に換算した数量を用いて算出している。

(注6) 肉類(鯨肉を除く)、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳・乳製品の( )については、飼料自給率を考慮した値である。